

# タイラギの生息状況について（55点調査結果）

平成26年11月7日

佐賀県有明水産振興センター

## 1. 目的

この調査は毎年1回実施し、タイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

## 2. 調査年月日

平成26年10月15～17、20、21、29日の6日間。

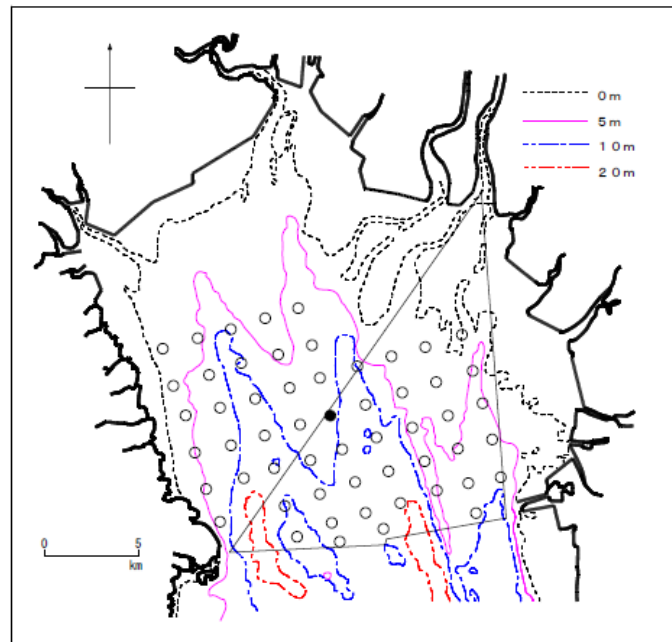
## 3. 調査方法

- ① 潜水器船で、1隻1日あたり5地点ずつ、合計55地点を調査した。
- ② 各調査地点において、100mのロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1mの範囲内にみられた生物を採取した。
- ③ 採取した生物は、水産振興センターに持ち帰ったのち、殻長、重量等を測定した。

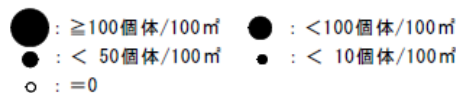
## 4. 調査結果

### ① タイラギ成貝の生息状況

- ・ 下図に示したとおり、生息地点数は55地点中1地点で、3個体採取された。
- ・ なお、昨年度の調査では、生息地点数は55地点中2地点で、いずれも1個体採取されたのみであった。



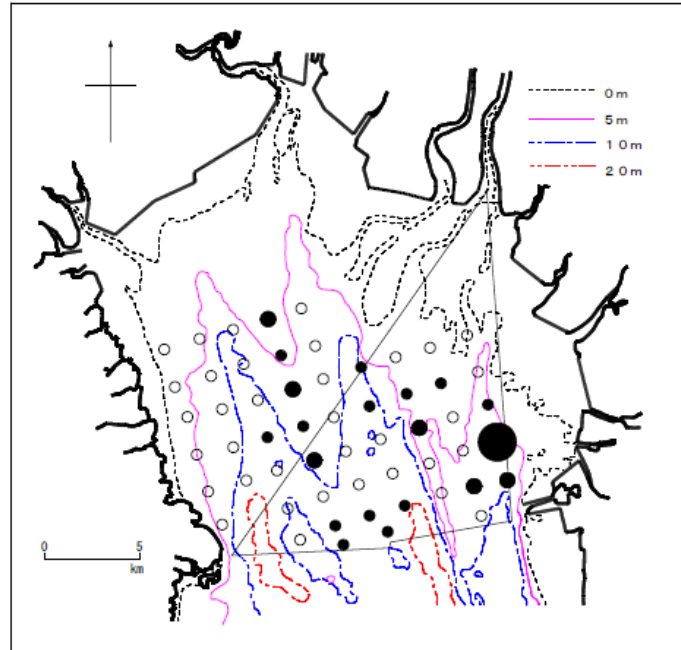
調査日：平成26年10月15～17、20、21、29日



タイラギ成貝生息密度（26年度55点調査）

## ②タイラギ稚貝の生息状況

・ 下図に示したとおり、稚貝は55地点中20地点で確認された。生息密度が比較的高かった地点は、ダイナン（湾奥中央部）と大牟田沖にみられ、それぞれ100㎡当たり最高で32個および118個が採捕された。平均殻長については、57.8mm（26.9～92.2mm）と、昨年度（平均79.0mm）よりも2cm程度小さかった。



調査日：平成26年10月15～17、20、21、29日

● :  $\geq 100$  個体/100㎡    ● :  $< 100$  個体/100㎡  
● :  $< 50$  個体/100㎡    ● :  $< 10$  個体/100㎡  
○ : =0

タイラギ稚貝生息密度（26年度55点調査）